



〈Full, 語る、積み重なった首のページをめくってみる〉2024年 ©Arai Ryoji

2025.3.25 TUE — 6.8 SUN

NAM

新潟市新津美術館

開館時間：午前10時～午後5時（券売は午後4時30分まで）／休館日：月曜日（4月28日、5月5日、6月2日は開館）／当日券：一般1100円（900円）、大学・高校生900円（700円）、中学生以下無料（～内は有料20名以上の団体料金／障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料（手帳をご提示ください）／2度目はオトク！リピーター割引（本展半券の提示で、本展2度目の観覧が団体料金）／2館見るとオトク！あっちも割（新潟市美術館の企画展観覧券を持参の方は団体料金）＊／新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券を持参の方は団体料金＊／＊印の割引は、1枚につき1回限り1年間有効／主催：新潟市新津美術館、U×新潟テレビ21、朝日新聞社／共催：新潟日報社／協力：偕成社、積水ハウス、宮本武典

new born 荒井良二

いつも じないところへ たびするきぶんだった

new born

荒井良二

荒井良二（1956—）は、2005年に日本人として初めてアストリッド・リンドグレン記念文学賞を受賞するなど、国内外で高い評価を受けるアーティストです。彼の幅広い活動は、絵本だけでなく、絵画、音楽、舞台美術にまでおよびます。当館では、2007年に個展「荒井良二 スキマの国の美術館」を開催し、多くの人々を魅了しました。本展では、絵画や絵本原画、イラストレーション、新作のインスタレーションや愛蔵の小物たちを通して、荒井良二の「いままで」と「これから」をご紹介します。展示空間の特徴を活かした会場構成は作家自身がおこない、全国を旅する本展覧会は会場ごとに新たな表情を見せます。まさに旅をする時のように、先が見えない不安や恐れをも楽しみに変えてしまうような気持ちで活動の幅を広げてきた荒井良二。彼はこれまでどんなところを旅して、次はどこへ出かけていくのでしょうか。ここからまた新しい荒井良二が誕生＝new bornする展覧会を、ぜひご体感ください。

写真：志雄康平



『こどもたちはまわっている』原画 (p.16-17) 2020年 垂記書房 作品全て©Arai Ryoji



《花の星》2008年

『あさになったのでまどをあげますよ』原画（表紙）2011年 偕成社



《げんしくん》2014年



《new born 旅する名前のない家たちを ぼくたちは古いバケツを持って追いかけ 湧く水を汲み出す》より 2023年 / 写真：池田晶紀

いつもしどろいどろいとおこる入ったびするまぶんだった

荒井良二 | ARAI RYOJI

1956年山形県生まれ。『たいようオルガン』でJBBY賞を、『あさになったのでまどをあげますよ』で産経児童出版文化賞・大賞を、『きょうはそらにまるいつき』で日本絵本大賞を受賞するほか、2005年にはアジアで初めてアストリッド・リンドグレン記念文学賞を受賞するなど国内外で高い評価を得る。2012年NHK連続テレビ小説「純と愛」のオープニングイラストを担当。ライブペインティングやワークショップのほか、作詞・作曲やギターも演奏するなど音楽活動もおこなっている。2018年まで「みちのおくの芸術祭山形ピエンナーレ」の芸術監督を務め、さらにその活動の幅を広げている。

前売券：一般のみ900円

前売券販売期間：2月22日（土）～3月24日（月）／前売券取扱所：セブン-イレブン（セブンコード：108-996）、デイリーヤマザキ新津駅前店、インフォメーションセンターえん（メディアシップ1F）、シネ・ウインド、アンビュー！、新潟市新津美術館 ※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せ可能

関連イベント



●「荒井良二と物語を汲み出す人」

荒井さんと一緒に「物語をつくる」プログラムです。インスタレーション《new born 旅する名前のない家たちを ぼくたちは古いバケツを持って追いかけ 湧く水を汲み出す》をモチーフに、参加者全員で物語文を編んでいきます。／講師：荒井良二、宮本武典（キュレーター、東京藝術大学准教授）／日時：5月3日（土・祝）午後2時～6時／会場：新津美術館レクチャールーム／定員：20名（参加無料、応募者多数の場合は抽選）／申込：当館 Web サイトで詳細をご確認のうえ、4月19日（土）までにメールでお申込みください。

●荒井良二×宮本武典 クロストーク

これまでたくさんの展覧会やプロジェクトとともに手掛けてきた荒井さんと宮本さんに、本展の魅力や展覧会に対する思いなどをうかがいます。／講師：荒井良二、宮本武典／日時：5月4日（日・祝）午後1時30分～3時／会場：新津美術館レクチャールーム／定員：50名／申込不要、参加無料／託児有り

●絵本のよみきかせ

当館ボランティアスタッフが、荒井さんの絵本のよみきかせをおこないます。／日時：6月1日（日）①午前11時～②午後2時～（各回30分程度）／会場：展示室／申込不要、要当日観覧券

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時：4月6日（日）、5月17日（土）各回午後2時～（30分程度）／会場：展示室／申込不要、要当日観覧券／託児有り

●こどもタイム

会場に音楽が流れるので、親子で会話を楽しみながら鑑賞できます。／第1・3木曜・日曜 午前10時～午後1時

●託児サービス（無料）

生後6か月から未就学児までのお子様を、専門スタッフがお待ちします。利用の3日前までに電話（0250-25-1300）でお申込みください（定員3名、先着順）。／鑑賞のための託児サービス：第2・4木曜・土曜 午前10時～12時／イベント参加のための託児サービス：4月6日（日）、5月17日（土）各日午後1時30分～3時、5月4日（日・祝）午後1時～3時30分

●月曜閉館日 4月28日、5月5日、6月2日

●津和野町立安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校

新潟県立近代美術館／4月12日（土）～6月1日（日）

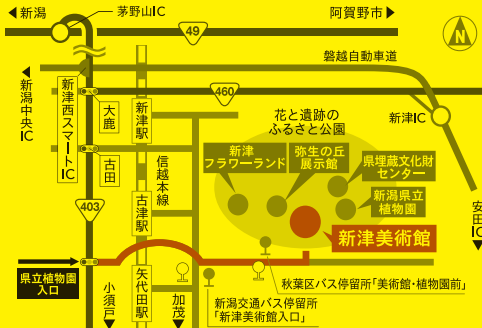
●junaida展「IMAGINARIUM」

新潟県立万代島美術館／4月19日（土）～6月22日（日）

「#にいがた春の絵本まつり」SNS投稿キャンペーン開催！詳しくは、各美術館およびUX新潟テレビ21のWEBサイトをご確認ください。

■交通のご案内

- JR：古津駅から徒歩約25分／矢代田駅から徒歩約35分。もしくはタクシー約5分／新津駅からタクシー約15分
- お車：新潟方面から、国道49号線を国道403号線加茂・新津方面へ（新津駅から約20km、約45分）／磐越自動車道、新津ICから約20分。新潟西スマートICから約15分（新潟西スマートICは会津若松方面の出入りにはできません）／無料駐車場有（250台）。新潟県立植物園無料駐車場も利用可能
- バス：JR新津駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗り約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス（平日のみ）「矢代田経由白根・潟東行」に乗り約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分／JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行」に乗り約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス（平日のみ）「新津駅」に乗り約5分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分



新潟市新津美術館
〒956-0846 新潟県新潟市
秋葉区蒲ヶ沢109番地1
（花と遺跡のふるさと公園内、
新潟県立植物園となり）
TEL. 0250-25-1300

[Facebook・X(旧Twitter)・
Instagram]
@niitsuartmuseum

美術館WEB 展覧会公式サイト



新潟美術館のサービス

同時開催

2025.3.25 TUE — 6.8 SUN — 新潟市新潟美術館

